

〈午後 2 時 2 5 分 休憩〉

〈午後 2 時 3 5 分 開議〉

○議長（保坂 悟君）

休憩を解き、会議を再開いたします。

次に、利根川 正議員。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（保坂 悟君）

利根川議員。〔1 番 利根川 正君登壇〕

○1 番（利根川 正君）

みらい創造クラブ、利根川 正です。

1 回目の質問をお願いします。

1、自然災害の対応について。

(1) 大雪の対応について。

- ① 今回の連続した大雪で、平年の 3 倍近い量の雪が置場に積み上げられていて、早めの雪の運搬による処理が必要です。市の考えを伺います。
- ② 2 月 7 日の大雪により、他県からの車の流入制限、午後 9 時から翌朝 6 時までの予防的通行止めを実施しましたが、今回の課題等がありましたら伺います。
- ③ 高齢者等に対しての除雪支援（屋根雪除雪等費用助成事業）を該当者へ知らせて支援を進めてもらいたいのですが、市の考えを伺います。
- ④ 大雪時、道路に垂れ下がる竹や枝木の管理を冬季前に管理者に除去をしてもらうように進めてもらいたいのですが、市の考えを伺います。

(2) 防災、減災、耐震化について。

石川県は、令和 7 年 1 月 1 4 日に開いた災害関連死の審査会での認定者を加え、関連死は認定見込みを含め 2 8 0 人を数え、直接死 2 2 8 人と合わせて 5 0 8 人となり、関連死を防ぐための環境整備が必要で、避難生活中に罹患したり持病が悪化したりしている方が多く、慣れない避難生活から生じるストレスは、想像以上のものであると思います。

以下、対策について伺います。

- ① 冬季の積雪時、停電の避難所の環境について、石油ストーブ等暖房用品を考えておく必要があると思いますが、市の考えを伺います。
- ② 今回、輪島の地震後の水害、土砂崩れなど、二重被災への対策も今後必要と思いますが、市の考えを伺います。
- ③ 昨年 6 月、各自治会が総合防災訓練を 5 年ぶりに実施しましたが、初期行動と、特に車での避難の検証は細かく行っているか伺います。
- ④ 直接死を防ぐためにも木造住宅の耐震診断と改修を早期に進めていかなくってはなりません。市の考えを伺います。

- ⑤ 防災・減災の教育を進めてもらい、現地に応援に行った方の話や、避難所の体育館にある防災用品の段ボールベッドの組立てや、段ボールトイレ、間仕切り用テントの組立てなど、使い方を実践できないか伺います。
- ⑥ 石川県の廃棄物は、240万トンの見込みで、来年3月末までに処理する目標としていますが、糸魚川市は処理の応援をさらに行えるのか伺います。

2、魅力ある観光地を目指して。

(1) 広域連携による観光誘客について。

- ① 妙高市、白馬村、佐渡市とオールシーズンの観光地を目指していくと思われませんが、今後、糸魚川市は、広域連携による観光誘客を考えているか伺います。
- ② 佐渡金山が世界遺産登録されましたが、ジオパークを通じて今後どのように連携を進めていくか、また、佐渡から上越市経由、糸魚川市へと観光客を誘導できないか伺います。
- ③ 白馬村を結ぶJR大糸線のインバウンド利用客の呼び込み、また、臨時バスの継続は考えているか伺います。
- ④ 大学の駅伝競走部、地質学を学ぶ学生など、廃校した小中学校の活用で、フィールドワークの施設として、利用できないか伺います。

(2) 地域資源を生かした観光の展開について。

- ① 糸魚川真柏の発信と展示、栽培を地域おこし協力隊の力を借り、フォッサマグナミュージアムで常時展開できないか伺います。
- ② 押上ひすい海岸、青海シーサイドパークで土日に、ヒスイの展示や宝探し企画、また各食事処の案内、ヒスイのお店紹介、ミュージアムへの案内パンフレットなどを配布できないか伺います。
- ③ 4月開幕の大阪・関西万博で6か月間にわたりヒスイの展示が行われます。その間に、修学旅行、また市内の方を対象にしたバスツアー、新幹線旅行企画ができないか伺います。

3、物価高騰対策について。

- (1) 昨年より円安、天候不順が原因で物価高が続き、野菜、魚介類、米、一般食品の値上がりが続いていて、電気、ガソリン価格も上げ止まりです。

以下、物価高騰対策について伺います。

- ① 去年、全国の家計調査では年平均の実質消費支出1.1%減、食品で0.4%減、光熱水道6.8%減で節約傾向が依然続いており、市は対策を考えているか伺います。
- ② 農林水産事業者、中小企業に燃料高騰に対する負担軽減支援対策を考えているか伺います。
- ③ 高齢者の単身者支援で、収入の面で厳しい方々にも目を向けて支援をお願いしたいと思いますが、市の考えを伺います。

以上、1回目の質問を終わります。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（保坂 悟君）

米田市長。〔市長 米田 徹君登壇〕

○市長（米田 徹君）

利根川議員のご質問にお答えいたします。

1 番目の 1 点目の 1 つ目につきましては、除雪作業が遅滞なく進められるよう、必要に応じて排雪作業を進めております。

2 つ目につきましては、通行止めの決定から開始まで短時間であったため、市民への情報提供が十分に行えなかったことが課題と認識いたしております。

3 つ目につきましては、降雪期前にお知らせばんやホームページで周知するとともに、民生委員と連携して、対象と思われる方に個別に案内いたしております。

4 つ目につきましては、通行の妨げとならないよう、所有者などに管理や伐採をお願いしており、引き続き周知に努めてまいります。

2 点目の 1 つ目につきましては、まずは個人で冬の避難に備えることが重要であると考えておりますが、避難所における防寒対策につきましては、備蓄品の配備を予定いたしております。

2 つ目につきましては、気象情報により避難指示等の発令を適切なタイミングで行うとともに、避難所や仮設住宅につきましては、災害の危険がない適切な場所に設置することが重要と考えております。

3 つ目につきましては、地区からの意見を聞きながら検証を行っております。

4 つ目につきましては、木造住宅の耐震化を促進するため、新年度に補助制度の拡充を予定いたしております。

5 つ目につきましては、防災リーダー研修や出前講座を実施いたしており、引き続き、避難所の設営や運営について周知・啓発をしてまいります。

6 つ目につきましては、市内の受入業者からは、処理能力的にはある程度余裕があるものの、タイミングによっては受け入れできない場合もあるとお聞きいたしております。今後も、市内企業と連携し、災害からの復旧・復興を支援してまいります。

2 番目の 1 点目の 1 つ目につきましては、これまでの広域観光連携に加え、上越 3 市による連携も強化しながら、引き続き誘客を図ってまいります。

2 つ目につきましては、佐渡の金山や当市のヒスイなど、特徴的な地域資源を生かしたジオツーリズムを中心に、連携を強化してまいります。

3 つ目につきましては、大糸線の利用促進を図るため、新年度も引き続き増便バスの運行を実施する予定であります。

4 つ目につきましては、市有財産の活用を推進する手法の一つとして有効であると考えており、引き続き検討してまいります。

2 点目の 1 つ目につきましては、糸魚川盆栽協会の協力を得て、フォッサマグナミュージアム周辺に糸魚川心拍を植樹し、解説板を設置いたしております。

2 つ目につきましてはヒスイ拾い等を目的に訪れた観光客に、市内を巡り、滞在時間を延ばしていただくことが課題と考えており、その方策を研究してまいります。

3 つ目につきましては、またとない機会でありますので、関係機関と協議をしてまいります。

3 番目の 1 点目の 1 つ目につきましては、状況を注視してまいります。

2 つ目につきましては、国・県への支援を要望してまいります。

3 つ目につきましては、高齢者の単身世帯も含め、住民税非課税世帯を対象とした給付金支援事

業及び灯油購入費等の助成事業を実施いたしております。

以上、ご質問にお答えいたしました。再度のご質問によりましては、所管の部・課長からの答弁もありますので、よろしくお願いいたします。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（保坂 悟君）

利根川議員。

○1 番（利根川 正君）

では、2 回目の質問をお願いしたいと思います。

まず、大雪に対する対応についてです。

近年、自然災害が大規模化し、局地化する傾向があります。異常降雪等、発生がいつ起こるとも限りません。この1 月末までは雪がなく、このまま春を迎えるというふうに私も思っていました。

しかし、2 月に入り一変、雪の降る日が数日も続き、降雪量も多くなり、これも一種の自然災害というふうに思っております。身を守る、被害を最小限にするには、日々の備えと地域の支えが改めて大切だというふうに思っております。

では、1 番の雪の処理についてですが、今回、大雪は連続に降ったため、処理する量が増えて、処理場に多くたまり、排雪してもらっていますが、まだ追いついていない状況です。交差点など、かなり視野が悪くなって危険な状態となっております。また、公民館等、避難所に当たる公共施設の駐車場も雪の置場でいっぱいになり、ふだんの駐車スペースの半分となっております。こちら、ぜひとも優先的に除雪処理をしてもらいたいんですが、いかがでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（保坂 悟君）

長崎建設課長。〔建設課長 長崎英昭君登壇〕

○建設課長（長崎英昭君）

お答えいたします。

今年の2 月以降、連続で降った雪の影響で、排雪作業に時間を要した箇所もありました。今ほどご指摘のとおり、交差点等の危険箇所につきましては、早期解放できるように、安全確保に努めてまいりたいと思います。

また、今ほど言われたとおり、避難所等の施設とか、あと公共施設周辺の主要道路につきましては優先的に排雪してまいりたいと考えております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（保坂 悟君）

利根川議員。

○1 番（利根川 正君）

避難所という形で、なるべく早めに除雪のほうして、安全に避難場所が設けられるようにお願いしたいと思います。

同じく、これ山間部なんですけど、除雪業者も雪の置場はかなり苦勞しております。3 倍近い量があり、一旦排雪してから除雪しなければならないぐらい、特に今回、1 月からの降ってる山雪という形で言われてますが、山間部では、今、大変な状況です。排雪をスムーズに今後できないか伺

いたいというふうに思っておりますが、いかがでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（保坂 悟君）

長崎建設課長。〔建設課長 長崎英昭君登壇〕

○建設課長（長崎英昭君）

お答えいたします。

今ほどお話ありましたとおり、雪の置場にかなり苦勞してるという声は、こちらのほうにも届いております。特に山間地につきましては、かなり降雪量がありましたので、雪の押し場がもうないということで、次、雪が降ると、どこに押していいか分からないという声も聞こえておりますので、その都度、地元あるいは除雪業者さんと調整を図りながら、除雪業者が最寄りの排雪場所ができるように、スムーズな排雪作業に努めてまいりたいと考えております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（保坂 悟君）

利根川議員。

○1 番（利根川 正君）

ぜひともお願いします。

今日の新聞を見て、シャルマンの雪の量が6メートル80ということで、びっくりしております。私のところでも1メートル10ぐらいあるんですけど、やっぱり毎日10センチとか20センチずつ降ってるんで、それが積み上げられたというふうに思っております。それから排雪場所によっては、水田の田んぼのほうに雪を押していくため、ふだんのやっぱり本当に3倍ぐらいの高さになってて、この田んぼの持ち主も、本当に田植まで除雪というか排雪してくれるかというふうに心配の声は上がってますんで、ぜひともお願いしたいと思います。

次に、2番目の予防的通行止めの件ですが、今回5日から9日にかけて、県内において高速道、国道の通行止めが行われ、車の立ち往生や事故もなく、特に国道の除雪作業が効率的にできたというふうに国土交通省も振り返っております。県内では、過去最大級の交通止めであり、適切な対応ができたというふうに思っております。今後も、時間帯、また、曜日を判断してもらって、よろしくお願いしたいというふうに思っております。

もう一点、輸送の要である鉄道、えちごトキめき鉄道の今回運休が、かなり多かったというふうに思っております。おとついても、多分運休してると思いますが、大糸線は、この雪の量で運休は、ある程度は理解できるんですけど、えちごトキめき鉄道の今回運休が相次いだ原因は、強風のためなのか、除雪体制が難しいのか、せめて除雪してもらって、午後、運転してもらおうというふうをお願いしたいというふうに思うんですが、この運休の原因が何なのか、ちょっと教えてもらいたいんですが。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（保坂 悟君）

内山都市政策課長。〔都市政策課長 内山俊洋君登壇〕

○都市政策課長（内山俊洋君）

お答えいたします。

今回、大雪の部分、えちごトキめき鉄道に確認しましたところ、今回は、前日の夜から非常に多量の雪が降って、直江津駅構内、特に車庫から本線に引き出す部分での除雪に手間を取ったということで、終日運休という対策を取られたということでお聞きしております。私どものほうからは、学生の足として非常にえちごトキめき鉄道に乗られているところでございますので、そういった部分に配慮していただけるように要請はしているところでもありますけれども、昨日の雪も、朝方は本線に引き出せたんですけれども、運行する路線のところではやはり雪があつて、谷浜地内で車両が止まったということがございます。気象状況によって、やっぱり除雪が間に合わないというところが生じますけれども、できるだけ利用される皆さんにご迷惑かからないように配慮していただくよう会社には要請したいと思っております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（保坂 悟君）

利根川議員。

○1 番（利根川 正君）

ぜひともお願いします。本当に高校生が行こうというあれで行けなかったと。親御さんに電話して車で送ってもらったというケースもありますので、よろしくお願ひしたいと思ひます。

次に、3 番目の高齢者の除雪支援ですが、先ほど市長のほうからもホームページとか民生委員にお願いしているというふうにありました。

この最初の市長の2月の大雪による市内被害状況の報告がありました。除雪被害で1件、建物被害で3件、農業被害で3件、県内においては、2月17日現在の雪害による死傷者数142件と多くなっております。特に雪下ろしの除雪作業で96人、それから除雪機によるけがが25件となり、年代も65歳以上がほとんどで、危険な作業だと思っております。その中で、屋根雪除雪は、山間部でどうしても業者をお願いしなければならない方もいて、費用も二、三回、今回聞いたところ、もう4回目の屋根雪下ろしをしたという方もおりました。かなり、これを業者に頼むと金額になります。補助的な助成も利用してる方もいますし、そこまで知らなかったという方もおられます。この利用状況、どのぐらいの方が利用されているか分かれば、教えてもらいたいんですが。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（保坂 悟君）

山岸福祉事務所長。〔福祉事務所長 山岸千奈美君登壇〕

○福祉事務所長（山岸千奈美君）

利用状況についてということで、お答えいたします。

今年度につきましては、352件の事前申請がございます。実績は、まだこれからということなので、まだ十数件しか出ていない状況ですので、参考に、昨年度、令和5年と、あと大雪だった令和3年の実績のほうをお伝えしたいと思います。

昨年、令和5年は小雪であったということなんですけれども、屋根雪除雪及び雪踏みの助成併せまして、事前申請が281件、実際の利用が88件で、総助成額は約134万円でした。

そして、比較として大雪であった令和3年度についてなんですけれども、こちら事前申請が365件で、実際の利用は262件、助成総額は約1,315万円ということで、降雪の量によって非常に幅がある実績となっております。

以上です。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（保坂 悟君）

利根川議員。

○1 番（利根川 正君）

こちらの申請ですね、民生委員のほうにお願いするという形でなっとなと思います。この年齢制限もありますし、所得の制限もありますので、その辺、民生委員の方に漏れのないようにお願いしたいというふうに思っております。よろしくお願いします。

次に、3 番の雪下ろしの件に関してですが、雪下ろしの安全対策、転落防止設備設置の安全帯取り付けが必要で、労働安全衛生法の一部が改正され、業者が行う屋根雪等の高所作業においては、設備が必要になっております。補助金、工事費 2 分の 1、上限 10 万円ですが、安いワイヤー式ですと目立たないですし、設置をぜひとも進めてもらいたいんですが、今後、屋根雪除雪を行う業者も、安全帯がなければできないという業者も出てきております。ぜひ設置を進めてもらいたいと思うんですが、いかがでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（保坂 悟君）

長崎建設課長。〔建設課長 長崎英昭君登壇〕

○建設課長（長崎英昭君）

お答えいたします。

今ほどお話ありました雪下ろし安全対策支援事業につきましては、補助率 2 分の 1、上限 10 万円ということで、私どもも、皆様に申請いただくようにホームページ等で周知しているところでございます。年々、僅かではあるんですけども、申請件数のほうは増加している状況でありますけども、今ほどお話ししましたとおり、やはり今年の大雪等を見て、今後は屋根雪除雪が増えることも想定されますので、多くの皆様から申請いただけるよう、引き続き制度の周知に努めていきたいと考えております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（保坂 悟君）

利根川議員。

○1 番（利根川 正君）

業者のほうも本当、設置してなければやらないという方も、業者も出てきております。本当に考えてもらいたいと。

1 つちょっと提案なんですけど、屋根の上に設置、ワイヤー等、パイプ等を作るんですけど、逆にこのぐらい雪が降ってると、逆に地上から屋根に向かって転落防止のロープだとか器具だとか、そういう設置を業者ができれば、簡単に雪下ろしができるというふうに思ってるんですが、その辺、もし今後、業者と検討してもらって、地上から屋根に向かって安全帯、ロープだとか器具を取り付けられるような感じでやってもらえれば、業者のほうも、いつでも雪下ろしができるんじゃないかという提案ももらってますんで、その辺、市のほうと業者のほうでちょっと検討してみたいというふうに思っております。よろしくお願いします。

次に、4番目の竹枝での枝木の件なんですが、県道、市道、広域農道に、この冬、雪の重みで竹や枝木が垂れ下がって、電線、道路を塞いでおりました。以前も言ったんですが、朝早く除雪の機械を運転してる方が、市道とか除雪のときに竹が下がったり、枝木が折れてて、その道路を塞いでるという場面がある。今回もあって、その方は、もう常にチェーンソーを持って、除雪を行っているという形になっておりますので、本当にもう秋口に、もうこれはもう道路を塞ぐとか、そういう木ありましたら、ちょっと市道ですと、市の所有地があれば、そこは市でできるんですけど、民有地、個人のものでしたら、ちょっとその辺を早めに、秋口に個人の方に連絡して、その辺の枝木を切ってもらうとか竹を切ってもらうとか、その辺の処置をぜひともやってもらいたいというふうに思っておりますので、よろしくお願いいたします。

それからもう一点、今後、今日も天気がよいんですが、山間部での雪崩、それから落雪が、今後、注意が必要だと思います。特に谷になっている道路を通らなきゃいけないという場合には、雪崩等が危険があります。シャルマン火打スキー場へ行く場合にも、雪崩等、ちょっと心配、これだけ降ると心配な面もあります。

以前、3年前ぐらいに、この時期2月23日では、島道で大規模な表層雪崩も発生してます。今後、危険箇所の点検ですね、よくいう雪割れ、クラック等が発生して、山の斜面にひびが入って、完全に崩れるなというような傾向が見られますので、その辺、市としては点検してるのか、監視しているのか、お聞かせ願いたいと思います。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（保坂 悟君）

長崎建設課長。〔建設課長 長崎英昭君登壇〕

○建設課長（長崎英昭君）

お答えいたします。

2月、大雪になりまして、今後かなり天気のいい日が続きますので、非常に雪崩の危険性が高まると想定されます。市としましては、雪崩注意報の発令とか、あと、まとまった新雪があったときのほかに、状況に応じましてパトロールの体制のほうを組んでおります。また、箇所が多くありますので、市のパトロールだけでは限りがありますので、除雪業者とか、あと地区の皆様から、雪崩の原因となります雪庇の状況等を情報提供いただけるよう呼びかけてまいりたいと考えております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（保坂 悟君）

利根川議員。

○1番（利根川 正君）

ぜひともよろしくお願いいたします。

次に、（2）の防災・減災・耐震化についてですが、防災・減災の取組では、地域ごとに対策が重要で、海岸部では津波対策に重点を置き、山間部では土砂災害を優先し、地域ごと、リスク評価に基づいた対策が求められていて、住民主体に参加することが、自助・共助につながり、個人の地域コミュニティが災害に備える意識を高め、具体的な行動につなげていくことが大切だと思います。そして、市は、住民の防災意識向上や自主防災組織の育成支援を通じ、地域全体の防災力を高める役割を担っているというふうに思っております。

それでは、まず、災害関連死の審査会についてお聞きしたいと思います。

災害関連死の認定窓口は、糸魚川市はどのようになっているのか。新潟県のほうに委託するのか、ちょっとお伺いしたいんですが。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（保坂 悟君）

竹田消防長。〔消防長 竹田健一君登壇〕

○消防長（竹田健一君）

お答えいたします。

審査会につきましては、災害による直接死のみではなく、要は避難所での、例えば病気とか、病気の悪化による間接的で亡くなられた方を公的に認定いたしまして、災害弔慰金の支給を行うことで遺族の支援につながることを目的としております。

また、災害の規模によっては、審査会につきましては各自治体で設置し、実施することとなっておりますが、災害の規模によっては、県にお願いするケースもあろうかというふうに考えております。

以上です。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（保坂 悟君）

利根川議員。

○1 番（利根川 正君）

糸魚川市で、審査会の設置は行われているのでしょうか。分かりますかね、県に委託する場合と糸魚川市独自で審査会設置をするパターンがあると思うんですが、この場合、糸魚川市は審査会を今設けているのかどうか、ちょっとお聞きしたいと思います。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（保坂 悟君）

竹田消防長。〔消防長 竹田健一君登壇〕

○消防長（竹田健一君）

お答えいたします。

審査会の設置につきましては、法的に義務づけられているものではありませんので、審査会設置自体はいたしません。例えば災害が発生して必要な場合には、当市で設置いたしますし、また、先ほど答弁したとおり、災害規模によっては県にお願いするケースもあるといったところです。

以上です。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（保坂 悟君）

利根川議員。

○1 番（利根川 正君）

今回、石川の場合、災害後、市の職員が非常に忙しくて、どうしても県に任せなきゃいけないというふうになっております。それで、県の調査ですと、地域ごと、福祉サービスの件など詳しい内容まで調査が難しく、調査内容が少なくなってしまう、結果、認定率が下がったり、時間がかかっ

ているという結果も出ておりますので、できたら糸魚川市のほうで内容が分かりますんで、設置のほうをお願いしたいというふうに思っております。よろしくお願いします。

①の寒い冬の時期の避難所生活、暖の取れる備品、置く必要があるというふうに思っております。政府も今後、備蓄品を増やす方向でいますし、この寒い時期、石油ストーブ、毛布など、ぜひ安心してもらえるように各避難所に配備してもらいたいというふうに思っております。その辺、いかがでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（保坂 悟君）

竹田消防長。〔消防長 竹田健一君登壇〕

○消防長（竹田健一君）

お答えいたします。

国の補正予算で新たに創設されました交付金を活用させていただきまして、簡易間仕切りや簡易ベッド、また議員からご指摘ありました石油ストーブにつきましては、各避難所というのはちょっと難しいんですが、拠点となる、例えば消防本部防災センター、また、市役所や両事務所等に大型の石油ストーブを設置したく、今回の補正予算で計上させていただいております。

また、毛布につきましては、かさばるなどの課題もありまして、皆さんからお聞きした中では、アルミブランケットも有効だといったようなところで、新年度予算で配置・配備については今検討している段階です。

以上です。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（保坂 悟君）

利根川議員。

○1番（利根川 正君）

皆さん、安心して避難できるように、できたら各避難所に配付できるようにお願いしたいというふうに思っております。ぜひともよろしくお願いします。

次に、②の二重被災の件なんですが、石川県では地震後、弱い地盤により土砂災害、土砂と一緒に流木による河川への流出、その流木が橋にかかり水害となり、2次被害が出ております。糸魚川の能生でも、崩地区というところで土砂崩れが今起きております。土砂崩れ、土石流の流れが本流まで行って、濁りを伴い、流れ込んでいて、この流れが1月より続いております。今後、春先の内水面によるアユの遡上にも影響ありますし、それから夏の海水浴場にも影響があります。県を含めて、早めの対策を考えてもらいたいんですが、いかがでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（保坂 悟君）

星野農林水産課長。〔農林水産課長 星野剛正君登壇〕

○農林水産課長（星野剛正君）

お答えいたします。

1月9日に被災を確認いたしました土砂崩壊現場は、積雪で詳細な調査ができないため、現在、県・市では、能生川の濁り具合を監視しております。県のほうでは、雪解けの状況を見まして、早

めの現地調査を予定いたしております。

以上です。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（保坂 悟君）

利根川議員。

○1 番（利根川 正君）

砂防堰堤等、もしあればたまって土砂を除去してもらうような対策もあると思いますので、早めに対策のほうをお願いしたいというふうに思っております。

次に、3 番目の各自治体の車での避難なんですが、津波のとき、車の避難、新潟県で防災検討会では、先日、能登半島地震を受けて、津波想定区域外の住民が車で避難して、本来、避難すべき沿岸部の住民が渋滞に巻き込まれていて、今回、避難指示は、地域に応じた住民の理解を深めて検討すると報告しております。

糸魚川市では、細かな話し合いは本当に進んでいるのでしょうか。いざとなったら大丈夫なんでしょうか、お聞かせください。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（保坂 悟君）

竹田消防長。〔消防長 竹田健一君登壇〕

○消防長（竹田健一君）

お答えいたします。

議員おっしゃられるのは、能登半島地震を踏まえた防災対策検討会ですかね、これが第 6 回の会が先日行われまして、報告書（案）といった形で示されまして、私も目を通させていただきました。その中で日本海側の津波につきましては、短時間で到達するというのもう言われておりますし、そういった特徴から、津波浸水想定等のハザードの周知、また、避難行動について規定されているんですが、そういったところにつきましては、これまでも当市で出前講座等で周知をさせていただいているところです。

津波からの避難につきましては、徒歩での避難を原則としておりますが、やはり今回、防災訓練、今年度の防災訓練につきましては、原則徒歩でといったところで車避難はお願いしなかったんですが、やはり車避難が必要な方といった方もおられますので、来年度の防災訓練につきましては、必要な方、実際に車避難をしていただいて、また検証する中で、実際にどういうふうにやればいいのかといったようなところをまとめ上げていければなというふうに今計画しているところです。

以上です。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（保坂 悟君）

利根川議員。

○1 番（利根川 正君）

昨年の上越市の津波の映像を見ましたが、河口を狙上して、橋を飲み込むようにして流れ込んで来ました、津波は。一步間違えれば大きな被害が起きたと思いますし、糸魚川市でも訓練を繰り返して実施しなければならないというふうに思っております。毎月、各公民館において、19 日です

か、防災訓練をしている公民館もあります。今後、このような訓練をさらにいろんな施設で広めて、19日は防災訓練の日という形での徹底のほうをよろしくお願いしたいというふうに思っております。

次に、直接死の対応です。④の住宅耐震化で能登半島地震で一部崩壊、1階部分が崩壊している家が多く、人が常にいる居間、寝室など、壁に筋交いを加えたり、補強材を入れたり、またタンス等を固定して、止めねじで止めるなど、木造住宅耐震化支援、この市の支援は、一応12月で終わっております。この支援を今後、耐震化改修支援は考えているのか、また、ほかにリフォーム補助金という形もあります。これも活用して、耐震化できるのかお伺いしたいんですが。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（保坂 悟君）

内山都市政策課長。〔都市政策課長 内山俊洋君登壇〕

○都市政策課長（内山俊洋君）

お答えいたします。

議員おっしゃられるとおり、リフォーム補助金等を活用して、タンスのねじ止めなどで2次被害を防ぐことは、有効な対策というふうに考えておりますけども、1階部分の構造的な耐震化を図るとなりますと、やはり多額の費用がかかります。こういった場合には、木造住宅の耐震改修支援補助金というものを私どもご用意しておりますので、そちらをご利用いただければと思っております。

また、近年、建築コストが高騰しておりまして、そういう影響もあることから、新年度に向けて補助制度の拡充を今、予定しているところでございます。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（保坂 悟君）

利根川議員。

○1番（利根川 正君）

また、室内ですね、シェルター化することも考えられます。政府も耐震化改修に、70歳以上の方の出費のない仕組みの援助づくりを打ち出してあって、高齢者で独り暮らしの方など、進めてもらいたいというふうに思っておりますが、このシェルター化のほう、考え的に市のほうでは、いかがお考えでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（保坂 悟君）

内山都市政策課長。〔都市政策課長 内山俊洋君登壇〕

○都市政策課長（内山俊洋君）

高齢者の皆様には、やはり耐震改修工事には多額の費用がかかるといったことで、なかなか二の足を踏むといったケースが見られます。そういった中で、耐震シェルターを選択肢の一つとして補助メニュー加えておりますので、これについて建築事業者のほうを通じて、高齢者の方に周知していただくよう、私ども今後も周知を徹底してまいりたいというふうに考えております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（保坂 悟君）

利根川議員。

○1 番（利根川 正君）

ぜひとも政府の展開を見て、ぜひとも進めてもらいたいというふうに思っております。よろしくお願いします。

次に、⑤の防災教育の件ですが、令和3年度内閣府から防災教育の全国展開が打ち出されております。全国の小中学校における定期的な防災教育の実施を求めている、避難訓練から避難所生活に何を学ぶべきかは大切で、自ら、また周囲の人の命を守ることのできるようになることが、防災教育の重要な課題と考えておりますし、実際、昨年の地震で避難所での段ボールベッドの組立てなど、私どもの中学生が主体となって行ってくれました。ぜひこの組立て等、使い方の練習をお願いしたいというふうに思っておりますので、ぜひ学校のほうでも進めてもらいたいというふうに思っております。

次に、石川県の廃棄物処理ですが、海を挟んで近い面もあり、輸送の利点などを生かして、処理をさらにお願ひしたいというふうに思っております。

また、石川県の応援という意味で、輪島の朝市通りの復興協議会が12月に発足し、次いで、2回目となる会合が、先月行われました。地震と火災に強いまちづくりを目指すというふうに掲げております。糸魚川市も火災からの復興で、協力できるのではないかとこのように考えております。要請があったら、よろしくお願ひしたいというふうに思っております。

次に、2の魅力ある観光地を目指してです。

今年、1月の訪日客数378万人、前年同月比40.6%増となり、単月、過去最高の記録になりました。アジアの旧正月、またウインタースポーツの需要の増で、オーストラリア人、アメリカ人が多く、前年同月に比べて増加になっております。

(1)の広域連携による観光誘客について、まず、白馬村の現状について、第2のニセコとして外国人が殺到して、東京、関西からも観光客が詰めかけています。ウインターシーズンは、オーストラリアの人が多く、アジアからもインドネシアの方も来ております。インドネシアの方は、雪遊びをするためにスキー場に来ているという状態です。

白馬では、10年前の4倍、2008年の5万人から2023年度は25万になっております。近年、外国資本のホテルの計画があり、丸山村長は、幅広い宿泊施設と900件近い宿泊所があり、地方創生はインバウンドしかないと言っております。地価も全国トップクラスの32.1%増、リフト券も1日券8,000円、ちなみに妙高・杉ノ原で7,000円、シャルマンで4,800円です。

また、働き口も、新潟から大工さんが手伝いに行ったり、タクシーの運転手が白馬で今現在働いている状況で、食事の提供がなく、おにぎり2個1,500円という金額となっております。いかに、2年前の白馬とはかなり違っております。

ここでお聞きしたいんですが、いかにインバウンド客を糸魚川が捉えられるかが課題だと思います。これからの糸魚川市の課題解決のため、市の考えを伺いたいと思います。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（保坂 悟君）

大西商工観光課長。〔商工観光課長 大西 学君登壇〕

○商工観光課長（大西 学君）

お答えいたします。

議員ご指摘のとおり、白馬エリアにつきましては、多くの外国人が訪れまして、バブル的な状況であるというふうに捉えております。引き続き、白馬エリアの日本海側の玄関口として、景観や食、歴史や文化など、白馬エリアとの差別化を図るとともに、広域観光連携会議などの行政レベルでの連携、また、民間事業者間の連携については、助成に努めるなど、インバウンド対応への対応を努めてまいりたいと思っております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（保坂 悟君）

利根川議員。

○1 番（利根川 正君）

ぜひともお願いします。

同じく妙高市も、同じようにインバウンド需要が、これから出てきます。今現在、杉ノ原のスキー場で、海外から100名近くのインストラクターがスキー場に来て、働いております。この方が休みになると、別のスキー場に遊びに行つて、シャルマン火打スキー場にも来ております。今後、妙高市と山を、登山などを通じて、連携も考えられないかというふうに思っておりますが、その辺の妙高市との関係はどのように考えていますか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（保坂 悟君）

大西商工観光課長。〔商工観光課長 大西 学君登壇〕

○商工観光課長（大西 学君）

お答えいたします。

海外のインストラクターの皆様から、シャルマン火打スキー場を評価いただきまして、それは大変誇らしいことかなというふうに思っております。妙高市とは、上越3市として、SEA TO SUMMITなどのイベントや観光パンフレットなど、情報提供の分野において連携を今現在もしております。

ご提言の登山につきましては、新潟焼山や火打山など、糸魚川市と妙高市をまたがる山でございますことから、登山を活用した連携も一つの手法であるというふうに考えております。

インバウンドの誘客に向けまして、関係機関とどのような連携を図れるか、改めて検討してまいりたいと思います。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（保坂 悟君）

利根川議員。

○1 番（利根川 正君）

ぜひとも夏場のシーズンも利用客増に向けて、お願いしたいというふうに思っております。

次に、ジオパークを通じて、佐渡は金、糸魚川はヒスイを打ち出して、ヒスイ拾い、ヒスイ巡りなど、佐渡汽船の観光客を糸魚川市に呼び込む連携、また、関西から佐渡に向かう場合、観光客を呼び込む連携ができないか、そちらのほうを伺いたいというふうに思っています。いかがお考えでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（保坂 悟君）

大西商工観光課長。〔商工観光課長 大西 学君登壇〕

○商工観光課長（大西 学君）

お答えいたします。

先日、糸魚川市で開催されました日本ジオパーク中部ブロック大会におきまして、北陸新幹線の敦賀延伸や大阪・関西万博を機に、佐渡市を含む沿線のジオパークが連携して、教育ツーリズムを推進することになりました。佐渡市は金、当市はヒスイという特徴的な鉱物もございますことから、体験教育旅行を中心に観光客の誘客に努めてまいりたいと思っております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（保坂 悟君）

利根川議員。

○1 番（利根川 正君）

ぜひともお願いいたします。

次に、④以前より、小中学校の廃校の利用を考えておりましたが、この大学生、運動部では、上早川小学校の起伏に富んだ地形が生かせる、また、地質学などは、市振小学校の資料も保管できる、海岸から山まで調べることができるというふうに思っております。この辺の利用状況をいかがお考えか、お聞かせください。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（保坂 悟君）

室橋こども課長。〔教育委員会こども課長 室橋淳次君登壇〕

○教育委員会こども課長（室橋淳次君）

お答えいたします。

廃校となった学校につきましては、これまでも利活用等につきましては地元の方とも協議をする中で進めてきたところですが、なかなかこれといった利用方法が定まっていないといった現状がございます。令和5年度にも、旧の浦本小学校と市振小学校でサウンディングという形で民間のほうに広く利活用等も呼びかけたんですけれども、申込みがなかったといったような状況がございます。今ほど議員からご提案いただいた部分も含めまして、また今後、利活用の方法については検討を進めてまいりたいと思っております。

以上です。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（保坂 悟君）

利根川議員。

○1 番（利根川 正君）

他市の事例になるんですけど、佐賀県のほうでは利活用検討会議という形で、地元住民と一緒に巻き込んだ協議会を進めております。こちらのほう、プロポーザル方式で公募しておりますし、事業者の意見も反映された事例と思いますので、ぜひ利活用検討委員会会議を進めてもらいたいというふうに思っております。よろしくお願いします。

次に、時間がないので、最後に市長にお伺いしたいんですが、糸魚川市、今後どのようなようになってもらいたいのかというふうにお考えか、一言お願いしたいというふうに思っています。よろしくお願いします。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（保坂 悟君）

米田市長。〔市長 米田 徹君登壇〕

○市長（米田 徹君）

お答えいたします。

様々な課題が、これからも続くかと思えます。また、人口減少というような、非常にいろんな影響がある現象も続くわけでございますが、しかし、市民の皆様方におかれましては、この和やかで過ごせる、やはり市になってもらいたいなと思ってる次第でございますので、そのような方向でお取り組みいただき、進めていただければいいのではないかと考えておる次第でございます。やはり厳しい環境の中にあっても穏やかに生活、また、人生が送れるような糸魚川市になってもらえばいいと考える次第でございます。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（保坂 悟君）

利根川議員。

○1 番（利根川 正君）

今後、きめ細かな支援によって、和やかに生活できるように進めたいというふうに思っております。

以上で、一般質問を終わります。ありがとうございました。

○議長（保坂 悟君）

以上で、利根川議員の質問が終わりました。

ここで、暫時休憩いたします。

再開を3時35分といたします。

〈午後3時29分 休憩〉

〈午後3時35分 開議〉

○議長（保坂 悟君）

休憩を解き、会議を再開いたします。

次に、新保峰孝議員。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（保坂 悟君）

新保議員。〔17番 新保峰孝君登壇〕

○17番（新保峰孝君）

日本共産党の新保峰孝です。